

### 1. 地域公共交通に対するニーズ

- ・ 近年、地域公共交通の利用者は総体として減少傾向にあるが、
  - ① 地域内外の交流促進・モビリティの向上による地域再生の展開
  - ② 環境問題に関する意識の高まり
  - ③ 少子高齢化社会の到来の対応
 という社会の要請に対し、既存ストックを有効活用し低コストで応える手段として地域公共交通見直しの機運が高まっている。
- ・ 特に、最近では行政や交通事業者だけでなく、地域の住民が自ら主体的に地域の足を確保しようという積極的な動きも出てきているところ。

### 2. 地域公共交通政策に関するニーズの変化

- ・ 地域公共交通政策について、国としては、
  - ① 需給調整規制の廃止による競争促進施策を通じた輸送モードごとの交通事業者の活性化による利用者利便の向上
  - ② 輸送モードを単位とした各種支援等の対応を中心としてその実現を図ってきたところ。
- ・ 一方で、近年では、
  - ① 政策目的に応じた、鉄道、バス等を通じたインターモーダル的な観点からの対応と、その前提としてのシームレスな公共交通の実現
  - ② 交通事業者や行政のみでは維持・改善が困難な地域公共交通について地域住民を含めた参画者の多様化
 といった観点を含んだ対応が求められてきており、このようなニーズの変化に合った施策展開も講じていく必要がある。

### 3. ユニバーサルデザインの考え方に基づく国土交通政策の構築の動きとの関連

- ・ 2. の2つの観点は、7月に公表した「国土交通省重点施策」に盛り込まれた「ユニバーサルデザインの考え方に基づく国土交通政策の構築」の内容にも通ずるもの。(P. 2参照)

具体的には、

- \* 「全ての人が、自立し、安心して暮らし、持てる能力を最大限に発揮」し、
- \* 「連続的に移動の自由が確保されたシームレスな空間の形成」
- \* 「障害の有無や年齢、経験、言語等にかかわらず活動できる生活環境の整備」
- \* 「情報提供や人材育成などの分野における取組みの強化」等に関連

- ・ よって、本検討は「ユニバーサルデザインの考え方に基づく国土交通政策の構築」の一環としても位置付け。